

# 平成 21 年度 坂出市教育委員会点検・評価報告書

平成 22 年 8 月 23 日

坂出市教育委員会

## ．目的及び制度の概要

教育行政の効果的推進と市民への説明責任を果たすため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 27 条の規定に基づき、教育委員会が毎年その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検・評価を行うものであり、その結果に関する報告書を議会に提出し、公表するものです。

## ．点検・評価の方法

平成 21 年度における教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況についての点検・評価を実施いたしました。この点検・評価に際しては、学識経験を有する者の知見の活用を図るため、「坂出市教育評価委員会」を平成 22 年 8 月 16 日に開催し、ご意見や助言をいただきました。

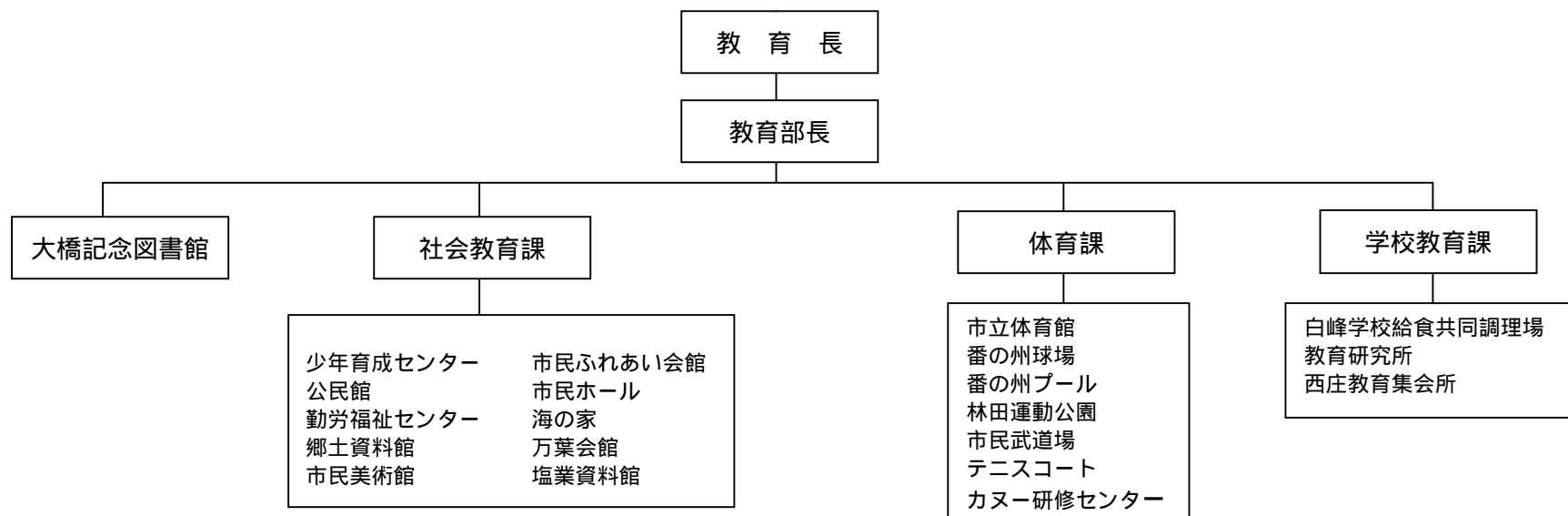
## ．教育委員会活動の概要

教育委員会制度の本来の意義、役割を果たすための運営改善と活性化が望まれる中、坂出市教育委員会では主体的で市民に信頼され、かつ開かれた教育委員会を目指し、平成 21 年度において以下の活動を行いました。

### 1．委員構成

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 3 条の規定により、教育委員に保護者が含まれるようにすることが義務化され、平成 20 年 9 月 29 日に坂出市教育委員会委員の定数に関する条例を定め、委員定数を 5 名から 6 名としました。平成 21 年 12 月 31 日をもって 2 名の委員が任期満了を迎えるに当たり、後任委員を検討する中で新たに選任する委員を 1 名とし、平成 22 年 1 月 1 日に坂出市教育委員会委員の定数に関する条例を廃止して法定数の 5 名にいたしました。

### 2．教育委員会事務局の組織



### 3. 教育委員会会議の開催状況

会議は、原則として毎月1回定例会を、また必要に応じて臨時会を開催しており、平成21年度は合計16回開催いたしました。

- ・教育委員会定例会 12回開催 議案 54件 報告 76件
- 教育委員会臨時会 4回開催 議案 4件 報告 4件

### 4. 教育委員会のその他の活動

#### 学校訪問

市立幼稚園9園、小学校14校、中学校6校を対象として2年間で全て訪問することとしており、平成21年度は4幼稚園、7小学校、2中学校を訪問いたしました。

実施日	訪問先	出席者
5月8日	瀬居小学校・瀬居幼稚園・瀬居中学校・金山小学校	教育委員長・委員4名・教育長
5月11日	加茂小学校・加茂幼稚園・王越小学校・王越幼稚園・東部小学校	教育委員長・委員4名・教育長
5月13日	中央小学校・林田幼稚園・林田小学校・東部中学校	教育委員長・委員4名・教育長

#### 香川縣市町教育委員会連絡協議会委員研修会

日時 10月15日午後1時30分～4時40分

場所 香川県社会福祉総合センター7階第1中会議室(高松市)

出席者 教育委員長・委員4名・教育長

研修内容 ・教職員のメンタルヘルスに対する教育委員会の取組みについて

講話「教職員のメンタルヘルス対策について」香川県教育委員会事務局健康福利課長

#### 市長との懇談会

日時 1月14日午後1時～2時

場所 本庁舎2階応接室

出席者 教育委員長・委員3名・教育長

懇談内容 平成22年度予算における市長への要望

意見書の提出

## 視察研修

日 時 2月8日・9日

場 所 奈良県奈良市，滋賀県大津市

出席者 教育委員長，委員3名，教育長，事務局職員1名

研修事項 奈良市

- ・ 学校支援ボランティア(学校支援地域本部事業)について
- ・ 教育委員会評価について

大津市

- ・ 教育現場における ICT 活用について
- ・ 幼稚園，保育所，小学校の連携について

## その他教育委員が関わる活動

4月 年度当初校園長会議

5月～6月 幼・小中学校春季運動会

9月 幼・小中学校秋季運動会

10月 幼・小中学校秋季運動会，水のフェスティバル in 府中湖，戦没者追悼式，教育功労者表彰

11月 まなとピアフェスティバル

1月 成人式，瀬戸大橋駅伝競走大会

3月 幼稚園卒園式，小中学校卒業式

## ・重点目標に対する評価結果

次ページ以降に、各項目の重点目標に対する自己評価と教育評価委員会評価を掲載しています。

### 評価基準について

区分	評価内容
A	新たな施策を立ち上げ、良好な成果をあげることができた。 計画以上の成果が得られた。
B	概ね計画の目標は達成できた。
C	課題を残し、目標も十分達成できなかった。
D	課題が多く、具体的成果がなかった。

## 1. 生涯学習の充実及び社会教育の推進

市民が生涯を通じて「生きがい」や「心の豊かさ」を求めて学習活動が続けられるよう、生涯学習推進体制の整備に努め、学習活動を促進するとともに地域での学習活動の振興を図る。また、生涯各時期の課題に対応した学習機会の充実に努めるとともに、学習情報の提供、学習団体・グループの育成や指導者の養成・確保に努め、個性豊かな文化のまちづくりを推進する。

<b>重点目標</b>	<b>(1)生涯学習の推進組織の充実</b>	<b>担 当 課</b>	<b>社会教育課</b>
<b>事業項目</b>	<b>a 社会環境の変化に応じた生涯学習計画の策定 b 効果的で充実した学習機会の提供</b>	<b>総合自己評価</b>	<b>B</b>
<b>自己評価概要</b>	市民が主体的な学習活動ができるよう生涯学習のまちづくり研究会や推進本部会、協議会の体制を整備し、市民参加型の生涯学習のまちづくりに努めるとともに、公民館を拠点とした学習活動を展開した。 市民講座では漢字書道をはじめとする9講座を前期・後期合わせて20回、延べ180講座を開催した。また、市民参加型の生涯学習のまちづくりを目指した学習講座に取り組んだ。なお、各種講座についてはホームページや市広報誌を活用するとともに、まなとピアフェスティバルの案内用ちらしを全戸配布するなど学習情報の提供に努めた。	<b>教育評価委員会 評価</b>	<b>B</b>
<b>重点目標</b>	<b>(2)グループの育成とリーダーの養成</b>	<b>担 当 課</b>	<b>社会教育課</b>
<b>事業項目</b>	<b>a 生涯学習グループの育成 b 地域に潜在する優れた人材の発掘と指導者・リーダーの養成</b>	<b>総合自己評価</b>	<b>B</b>
<b>自己評価概要</b>	女性学級活動として、22団体が平均月1回、健康に関する講座、男女共同参画に関する講座、人権講座などを開催した。 婦人会活動としては、地域におけるリーダーの育成を目的として、市婦人団体指導者研修会を年1回開催し、後継者育成に努めている。また、各地域においては子育て中の若いお母さんのよき相談相手となったり、子どもたちの登下校の安全見守り隊をしたりして、地域の中での連携を深めると同時に、指導者育成に努めている。県のリーダー研修会にも積極的に参加し、リーダー養成を行っている。	<b>教育評価委員会 評価</b>	<b>B</b> 女性学級の継続に関する検討を要す。
<b>重点目標</b>	<b>(3) 社会教育施設の整備</b>	<b>担 当 課</b>	<b>社会教育課</b>
<b>事業項目 (社会教育課分)</b>	<b>a 公民館等生涯学習施設の整備・充実</b>	<b>総合自己評価</b>	<b>C</b>
<b>自己評価概要</b>	施設の整備については、部分補修により対応している。今後坂出市公共施設耐震化計画に基づき耐震診断を実施し、安全な施設の整備を行う予定であるが、施設の建て替え等の再検討も必要である。 また、施設相互の連携強化、既存施設の有効活用については、各施設での企画事業、まなとピアフェスティバルの開催、文化芸術活動等の拠点として情報発信しており、豊かな心と文化のまちづくりを目指して一層の連携と施設の一体的な有効活用が求められる。	<b>教育評価委員会 評価</b>	<b>C</b>

重点目標	(3) 社会教育施設の整備	担当課	図書館
事業項目 (図書館分)	a 図書館施設の整備・充実	総合自己評価	B
自己評価概要	施設の整備については、部分補修により対応している。定期報告調査による指摘事項も多く、順次対応をしていく予定である。耐震診断は、坂出市公共施設耐震化計画に基づき行う。平成21年～22年度の県費補助・図書館省エネ改修事業により太陽光パネルの設置、照明のLED化と改善に取り組んでいる。	教育評価委員会 評価	B

重点目標	(4) 図書館活動の充実	担当課	図書館
事業項目	a 多様な要求に応えられる資料の収集 b 情報提供サービスの充実 c 次代を担う子どもたちを重視した図書館事業の展開	総合自己評価	A
自己評価概要	サービスの向上等により図書館の利用は前年度より増えた。 図書館同士で、お互いの観光・物産・文化情報を交換する「観光エクステンジ展示」を開始して、鳥取県立図書館・津山市立図書館・福山市図書館・萩市立図書館と実施した。ボランティアの資質向上のために、文部科学省子ども読書活動応援プロジェクト「子ども読書ボランティア育成事業」によりボランティアリーダー育成講座を実施した。ボランティアの協力と補助事業等の利用により、低予算で効果的な行事を行った。	教育評価委員会 評価	A

重点目標	(5) 健全な青少年の育成	担当課	社会教育課
事業項目	a 家庭，地域，学校，関係機関による青少年健全育成事業 b 青少年育成組織の充実と青少年団体の指導者・リーダーの養成 c ボランティア活動，世代間交流活動，環境美化活動等への参加促進	総合自己評価	B
自己評価概要	思春期セミナーの開講，わくわく！さかいでっこ探検隊やニューススポーツ講座などの家庭教育支援事業を展開し，青少年の健全育成活動に取り組んだ。 地域育成活動事業やまんでがんキャンプなどを実施し，青年団体，子ども会の育成に努めるとともに，補導活動，相談活動を展開することで青少年の健全育成及び青年団体の指導者，リーダーの養成に努めた。さらに地域教育力の向上を図るため学校支援ボランティア推進事業を実施し，ボランティア活動などの促進を図り，社会教育の推進に努めた。	教育評価委員会 評価	B

## 2. 学校教育の充実

平成 21 年度は、二学期制が 4 年目を迎え、幼稚園と小中学校における教育課程の運用や行事等の持ち方が安定してきた。また、幼稚園と小中学校において学校評価が実施され、第三者評価としての「学校経営支援委員会」の実働がそれぞれの園や学校の活性化と改善につながっている。さらに、人的支援体制面では、市単独による特別支援教育支援員の配置等の取組みが効力を発揮している。

教育環境整備においては、学校施設整備・耐震化を計画的に推進するとともに、教育用教材・備品及び図書を整備に努め、学校 ICT 環境整備事業を実施した。また、学校再編整備では、中央小学校、西部小学校、沙弥小学校の平成 22 年度統合に向けての諸準備を進めた。

重点目標	(1)幼稚園教育の充実	担当課	学校教育課
事業項目	a 保育方法の工夫と教員の資質向上 b 地域に開かれた園づくり	総合自己評価	A
自己評価概要	<p>保育方法の工夫という視点では、学校関係者評価委員会の評価や保護者の評価が、各幼稚園の保育の質の向上や教職員の意欲の高まりにつながっており、平成 21 年度は絵本や ICT 機器等を活用した取組みが積極的に推進された。また、文部科学省委託事業の「体力向上の基礎を培うための幼児期における実践活動の在り方に関する調査研究」については、3 年間の取組みに関する報告が文部科学省から高い評価を得た。</p> <p>教員の資質向上という視点では、幼児教育の今日的課題解決のために各園の実態に即した研究テーマを設定し、保育実践や研究に取り組んでいる。特に平成 21 年度においては、特別支援教育に関連した専門機関との連携や研修が実施され、全教員が幼児一人ひとりの特性に即したきめ細かな保育に努めるといった意識の向上につながっている。</p> <p>地域に開かれた園づくりという視点では、各園が家庭・地域との連携を意識して地域の諸団体とのふれあい活動等を積極的に行っている。幼児ふれあい茶道教室の開催や各園での茶道教室活動も充実してきており、こうした活動が園児の人とかかわる力、思いやりの心の育みにつながっていると考える。</p>	教育評価委員会 評価	A



重点目標	(2) 小学校教育の充実	担 当 課	学校教育課
事業項目	a 確かな学力の向上と教員の資質向上 b 人格形成と規範意識の涵養 c 体力・健康教育の充実	総合自己評価	B
自己評価概要	<p>市内の児童の学力、体力とも、県平均には達していないものの、平成 20 年度と同じような傾向で、ほとんどの項目で全国平均を上回り、対前年比でも向上が見られる。こうした背景には、確かな学力をつけるための工夫や少人数指導や個に応じた指導等が充実してきていると捉えている。また、健康教育における食育についても、各校の実態に応じた指導が充実してきた。</p> <p>一方、教育研究所での「学校教育の情報化推進に関する研修～ICT を活用した教育の充実～」や「魅力ある英語活動にするための工夫～授業実践を通して～」についての研修が教員の資質向上に役立った。</p> <p>いじめについては小学校で 8 件発生し、暴力事件は 5 件発生した。これらは学校の早期対応、学校と教育委員会の連携、関係機関との適切な連携により、年内に事案解消が図られた。不登校は 2 名であった。また、不登校傾向の児童に対しては保護者との連携を密にし、着実に成果を上げた。</p> <p>各小学校において、目標申告と学校関係者評価委員会の実施及び公表・報告を完全実施した。さらに、学校評価書を作成し、前期と後期に第三者評価「学校経営支援委員会」を開催できたことで、学校経営の活性化につなげることができた。</p>	教育評価委員会 評価	B

重点目標	(3) 中学校教育の充実	担 当 課	学校教育課
事業項目	a 確かな学力の向上と教員の資質向上 b 人格形成と規範意識の涵養 c 体力・健康教育の充実	総合自己評価	B
自己評価概要	<p>市内の生徒の学力、体力とも、県平均には達していないものがあるものの、平成 20 年度と比べて、ほとんどの項目で平均伸び率がよかった。こうした背景には、各学校での学力に対する課題を明確にして取り組み、確かな学力をつけるための工夫や少人数指導や個に応じた指導が実施されてきたからと考えている。また、健康教育における食育についても、各校の実態に応じた指導が充実してきた。</p> <p>一方、教育研究所での「学校教育の情報化推進に関する研修～ICT を活用した教育の充実～」についての研修が教員の資質向上に役立った。</p> <p>いじめについては中学校で 10 件発生し、暴力事件は 52 件（生徒間 25、対教師 15、その他 12）発生した。また 1 名が逮捕される事案（バイクでのひき逃げ事件）が発生した。これらのいじめと暴力事件については、事案数が多かったものの、学校の早期対応、学校と教育委員会の連携、関係機関との適切な連携により、着実な取組みを重ね、年度内に解決に向かい終息した。不登校についても 35 名と多く、平成 20 年度より 16 名増加した。しかし「ふれあいの部屋」や「であいの部屋」によって保護者との連携が図られ、一定解消を含めて 15 名が学級復帰できた。</p> <p>各中学校において、目標申告、学校関係者評価委員会の実施及び公表・報告については完全実施ができた。さらに、小学校と同様に、「学校評価書」が作成され、前期と後期に第三者評価「学校経営支援委員会」を開催できたことは、学校経営の活性化に取り組む体制が整いつつあるものと捉えている。</p>	教育評価委員会 評価	B

重点目標	(4)地域に開かれた信頼される学校づくり	担 当 課	学校教育課
事業項目	a 教育課題解決に向けた取組み b 人的支援体制の充実 c 家庭・地域との連携と啓発	総合自己評価	A
自己評価概要	<p>指導力の向上と指導体制の充実，特別支援教育の充実，外国語活動の充実において，市としての人的支援体制ができてきたことで，教育現場との好ましい連携づくりが実現してきている。また，平成 21 年度も小中学校では少人数指導として習熟度学習や T T (チームティーチング) 学習の形態を積極的に取り入れ，成果を上げた。こうした取組みが県の少人数指導加配のヒヤリングにおいて評価され，配置加配校数（中学校 3 校，小学校 9 校）を維持することができた。</p> <p>特別支援教育の充実については，平成 21 年度も 3 名の特別支援教育支援員を 3 校に配置し，支援体制を強化することができ，教育現場のニーズに応えることができた。</p> <p>その他，さまざまな事案について学校と家庭とが納得する形で解決を図ってきた。また，家庭の教育力の向上を目指して，各学校が調査等によって実態を明確にし，それぞれの実情に合わせた方策をより具体化させている。さらに各学校においてアンケート調査等を通して，家庭や地域との連携を図る取組みが積極的になされている。具体的には，ホームページの開設，メール配信，学校だよりの送付等が充実してきた。</p>	教育評価委員会 評価	A

重点目標	(5)教育環境の充実	担 当 課	学校教育課
事業項目	a 学校施設整備・耐震化の計画的推進 b 教育用教材・備品の整備，情報化の推進 c 就学・通学等助成事業の充実 d 学校再編整備の推進	総合自己評価	B
自己評価概要	<p>学校施設整備では，平成 22 年 4 月新設の坂出小学校の校舎について，児童数が倍となる規模に対応すべく，新校舎完成まで使用する中央小学校校舎の改修工事を行った。また，その他施設の修繕については，緊急度，老朽化度等を考慮しながら実施した。</p> <p>学校施設の耐震化については，できる限り前倒して実施できるよう国の制度動向を的確にとらえて必要な予算措置等を行い，平成 20 年度末での耐震未了建物 30 棟(実質 25 棟)のうち 10 校園 17 棟の実施設計を行うとともに東部中学校南校舎の耐震工事を完了した。なお，10 校園 17 棟の耐震補強工事費を平成 21 年度で予算化し，年度内に 1 棟分の工事契約を実施し，残りは翌年度に繰り越した。平成 22 年度ではこの 17 棟の耐震補強工事を完了する予定であり，平成 22 年度の当初予算では 7 棟分の実施設計を計上していることから，平成 23 年度中に全ての耐震化を完了させる道筋を立てることができた。</p> <p>教材・備品等の整備では，平成 21 年度に創設された学校情報通信技術環境整備事業補助金を活用し，国が掲げた目標である学校における地上デジタルテレビ化，教員 1 人 1 台のパソコン整備，児童生徒 3.6 人に 1 台のパソコン整備，校内 LAN 整備，1 校 1 台の電子黒板整備を事業総額 1 億 5,188 万円で完了した。また，理科教育振興法に基づく教材整備において補正予算が追加されたのを受け，2,000 万円分の教材整備を行った。その他，ふるさと納税 50 万円の組み入れによる中学校図書追加整備，新学習指導要領対応のための武道用具整備，楽器の集中整備等を行った。</p> <p>通園・通学等助成事業においては，各制度の根拠となる法令・規定に基づき適正に処理を行い保護者の経済的負担の軽減を図るとともに，私立幼稚園教育振興補助金を見直し，私立学校振興補助金制度への一本化を行った。</p> <p>学校再編整備では，平成 20 年 12 月に策定した坂出市学校再編整備実施計画に基づき，前期計画に位置付けられた西部小学校，中央小学校，沙弥小学校，瀬居小学校の統合について，地元理解のもと瀬居小学校を除く形ではあるが平成 22 年 4 月の坂出小学校新設に至った。また，同じく前期計画に位置づけられていた王越小学校と松山小学校の統合についても，地元説明会を開催して地元理解を求め中，平成 23 年 4 月を目標とした統合について，大方の了承を得た。</p>	教育評価委員会 評価	B

### 3. 人権・同和教育の推進

「坂出市人権教育・啓発に関する基本指針」に基づき、差別のない社会を目指して、一人ひとりが人権尊重の精神に立ち、教育の中立性を確保しながら心理的差別的解消に向けた人権・同和教育を推進する。

重点目標	(1) 学校教育における人権・同和教育の推進	担当課	学校教育課
事業項目	a 生命尊重・人権尊重の精神に徹した「怒」の心の教育 b 学習発表と市民への啓発 c 学習指導資料の作成	総合自己評価	B
自己評価概要	学校教育においては、幼児や児童生徒の発達段階に即し、各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間等の特質に応じながら、各学校の教育活動全体を通じて人権尊重の意識の高揚を図っている。本市の教育理念である「怒」の心を人権・同和教育の基本理念として位置づけ、自他相即の関係において人と人、人と自然を捉え、生命教育に包含される人権・同和教育としての取組みを進めており、本年度も冊子「心」とその教師用指導資料の部分改定を実施した。また、幼稚園と小中学校及び市内の高等学校との連携を図りながら、活発な意見交換を行い、常に人権・同和教育の在り方を見直し、人権感覚の涵養に努めている。	教育評価委員会 評価	B

重点目標	(2) 社会教育における人権・同和教育の推進	担当課	社会教育課
施策	a 人権感覚を養う啓発活動や教育活動の推進	総合自己評価	B
自己評価概要	豊かな情操や思いやり、生命を大切に作る心や善悪の判断など、人間形成の基礎を育む上で、幼児期における家庭教育は教育の出発点であり重要な役割を果たしており、その充実を図る必要がある。特に、親自身が偏見を持たず差別をしないことなど、日常生活を通じて自らの姿をもって子どもに示していくことが重要である。 また、PTA 連絡協議会への補助や女性学級での研修の中で人権・同和教育に関する講座を開催している。	教育評価委員会 評価	B

#### 4. 文化・スポーツの振興

市民一人ひとりが心豊かで潤いのある生活を実現するため、芸術・文化活動等の振興に努める。また、豊かな心を育む芸術文化活動を推進するため市民の意識の高揚を促すとともに、発表の場や鑑賞機会の提供に努め芸術文化の振興を図る。

重点目標	(1) 芸術・文化活動の振興	担当課	社会教育課
施策	a 企画事業の充実 b 文化祭・音楽祭・講演等イベントの充実 c 各種芸術・文化グループ活動の支援 d 専門的で優れた指導者の養成・確保	総合自己評価	B
自己評価概要	<p>市民美術館さかいで Art グランプリ 2009 などの 6 企画事業・万葉会館 3 企画事業を実施して芸術文化への意識を高めるとともに、発表の場や鑑賞機会の提供に努めた。市民美術館 6 企画事業への参加者は 6,102 名であった。万葉会館 3 企画事業については万葉歩く会、坂出短歌会、煎茶グループあけぼののボランティア 3 団体が中心となって春季に実施しているものであり、参加者は 382 名であった。</p> <p>生涯学習の祭典 2009 まなとピアフェスティバルを開催し、文化芸術活動の振興に努めるとともに、坂出市文化協会への活動助成を行い、芸術文化団体の育成に努めた。さらに坂出市民大学講座の開催に助成を行い、人材の育成に努めるとともに豊かな心と文化のまちづくりを推進している。</p> <p>また、専門的で優れた指導者の養成・確保についても、今後取り組んでいく必要がある。</p>	教育評価委員会 評価	B 沙弥島全体を考慮した万葉会館の有効利用について検討を要す。

重点目標	(2) 文化財を生かしたまちづくり	担当課	社会教育課
施策	a 史跡や郷土芸能など文化遺産の保存・伝承活動の推進 b 生活文化を中心とした分野における記録・保存活動の推進	総合自己評価	B
自己評価概要	<p>文化財保護に関する事業では、国宝の神谷神社、国・県指定文化財を所有する白峯寺、県指定民俗文化財の櫃石ももて祭保存会、府中町史跡保存会に助成を行った。また、加茂地区において埋蔵文化財の発掘調査を行った。今後、文化財用地の除草等の清掃については、地元自治会やボランティアの協力を得ながら取り組む必要がある。また、新たな指定文化財の保護にも取り組む必要がある。</p> <p>郷土に伝わるふるさとの歴史や芸能等を保存伝承する事業としては、文化協会の協力により「～ふるさと再発見～ 万葉の島 沙弥島を訪ねて」と題してDVDディスク等に収め、その貸出しを行った。</p> <p>今後、観光とタイアップしながら、インターネット等を活用し「古のまち・さかいで」のPRに努めたい。</p>	教育評価委員会 評価	B 文化財に関する広報活動の活性化と予算配分の再検討を要す。

重点目標	(3)スポーツの振興	担当課	体育課
事業項目	a生涯スポーツの普及・振興 b体育指導委員の資質向上 c市体育協会加盟団体・各種スポーツ団体の支援 d全国レベルの大会の開催支援 e小学校体育施設の有効活用	総合自己評価	B
自己評価概要	健康で心豊かな市民生活を確保する上でスポーツ・レクリエーションの推進は、重要な役割を果たすものである。また、近年における余暇時間の増大、出生率の低下とあいまって、急速な長寿化社会の進行により、その健康の保持・増進を願って市民のスポーツに対する関心と意識は益々高まっているところである。また、総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会を立ち上げ設立に向け鋭意取り組んでいる。	教育評価委員会 評価	B

### 重点目標に対する評価結果の集計

評価	自己評価	外部評価
A	3	3
B	12	12
C	1	1
D	0	0
合計	16	16